ふれあい清和

〈発行〉
君津市清和地区
社会福祉協議会
〈編集〉
広報委員会

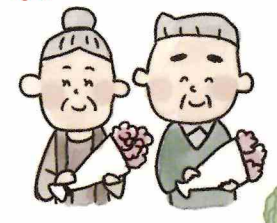
敬老会

社会福祉協議会主催の清和地区敬老会が 10 月 10 日に清和小学校で開催されました。敬老会は地域の人々の交流を深め、末永く生き生きとみんなで共に手を取り合って、暮らしていきたいとの思いから実施されています。

今年、清和地区では卒寿(満 90 歳)を迎えた 7 名(該当者 39 名)の方が君津市社会福祉協議会の加藤会長から、また、珍寿(満 95 歳)を迎えられた 1 名(該当者 16 名)の方が佐藤会長から記念品を贈呈されました。

式典での記念品贈呈の後、敬老演芸で「清和こども園園児」「清和小学校児童」「白ゆり会」「Seiwa フラガールズ」「深山扇光会」「フラサークルピコ」の皆さんにダンスや日本舞踊を披露していただき、みんなで楽しく鑑賞しました。最後に女流落語家の雲龍亭雨花さんの落語を聞くことができました。本物の落語は、やはりひと味もふた味も違いました。参加された皆さんは、「来年も楽しみにしています。」とお話しくださり会場を後にしていました。

今回も、シニアクラブ清和支部・清和地区自治連絡協議会・清和地区民生委員児童委員協議会・赤十字奉仕団・秋元婦人会等々がこの会を支えてくださいました。ありがとうございました。(小)



いきいきこの人

大塚 政宏さん 鹿野山在住

この度は、鹿野山の大塚屋旅館、大塚政宏さんをお尋ね致しました。

今年で満90歳を迎えられ、今も現役で娘さんと旅館を経営されているお姿は元気そのものでした。若い頃胃を患った以外は長い間病気もせず、もちろんお薬も飲むことなく現在に至っているとのことです。

大阪で次男として生まれ、中学二年生のとき、祖父のいた鹿野山に兄弟三人の中で、政宏さんが移住。「中学生のときは、山道を歩いて学校に通い、高校は福岡まで自転車でそこからバスで木更津まで通いました。」

卒業後は家業を継ぎ、祖父を師匠に日夜修業を積み、現在に至っているとのことです。現在、大塚屋の名物となっている卵焼きは祖父の考案によるものです。

21歳の時伴侶に恵まれ結婚、二人の女の子と共に幸せな生活、旅館業を送ることができ、その間に、千葉県調理師会の理事長を10年間、君津市の選挙管理委員長を8年間務めたとのことです。

また当時家業の一環でもあった結婚式や敬老会の司会等幅広く活動されていました。「平成18年11月3日には、旭日双光章の叙勲を受けさせていただきました。」と穏やかな笑顔でお話しくださいました。

今も料理等すべて、自分で切り盛りし、味付け等においても怠りなく行っているとのことです。娘さんと二人、平穏な日々を過ごしながら週一回の友人とのマージャンが唯一の楽しみであり、健康維持とボケ防止には一番だと話してくださいました。

たくさんのお話ありがとうございました。いつまでもお元気で…

（澤）（岡）（鶴）（仲）

かいものツアー

9月20日ひとり暮らしの高齢者を対象とした鴨川方面への「買い物ツアー」が実施されました。民生児童委員や社会福祉協議会関係者を含め、26名が参加し、「カインズ」で日用品や園芸用品等を買い物。

「スシロー」では、タッチパネルでの注文に最初は戸惑いがありましたが、各々が食べたいものを注文し、空腹を満たしました。

その後「ベイシア」では食料品や衣料品の買い物をし、最後の「オーシャンパーク」では、屋上テラスで潮の香りを満喫し、帰路につきました。

当日は、30度越えの真夏日でしたが、交流を深め、楽しい一日でした。（伊）

健康と福祉のふれあいまつり

健康と福祉のふれあいまつりが、保健福祉センターふれあい館と生涯学習交流センターの二会場を中心に、10月19日に開催されました。

清和地区社会福祉協議会からは、例年清和特産の自然薯で「麦とろご飯」を提供してきましたが、米飯の加工・販売の一部が規制されたため、昨年は参加を見合わせました。

このため、今年度は清和地区社協のスタッフでチームを組織し、むかごおこわ・太巻き寿司を中心に、生涯学習交流センターの模擬店で販売することといたしました。

前日までの雨があがり、当日は汗ばむほどの晴天になり、用意した約一三〇の商品も午前中ですべて完売となりました。

ご協力してくださった皆様、ありがとうございました。（佐）

10月